

平成20年度事務事業評価表	担当	市民福祉部 看護専門学校	内線等	8006
---------------	----	--------------	-----	------

事務事業名	教材備品整備事業			
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)				
基本目標	4. 豊かな心と創造性を育むまちづくり	施策名	医療	
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった			
市長マニフェスト	-			
市長マニフェストの執行状況	-			

事務事業の内容

対象(受益者)	看護専門学校学生に対して
手 段	図書室、情報科学室及び校内実習設備を充実させることにより
成果、目標	看護に必要な専門の知識及び技術を習得し、教育理念に掲げる「叡智」と「広い見識」の達成を図る。

成果指標

成果指標名	蔵書回転率	教材備品増加率	
成果指標の説明	総貸出数 / 蔵書数	当該年度備品数 / 前年度備品数	
指標の推移	平成19年度決算(実績)	平成20年度決算(実績)	平成21年度予算(計画)
成果指標	27.5%	30.0%	29.8%
成果指標	101.5%	103.8%	100.4%

事業の概要

項 目	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度計画
図書室蔵書数	8,115冊	8,288冊	8,400冊
貸出冊数	2,230冊	2,487冊	2,500冊
教材備品数	760点	789点	792点

事業にかかる人工

(単位：人)

人工計	0.87人	次長課長級	0.10人	補佐級	0.05人	係長級	0.05人	一般職	0.67人	非常勤	0.00人	再任用	0.00人
-----	-------	-------	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

人件費を含む事業費	事業費	4,706
	人件費	5,714
	合計	10,420
財源内訳	特定財源	4,706
	一般財源	5,714

事業の仕分け

A 現行どおり市が実施	説明	本校は保健師助産師看護師法施行令第12条に基づき申請し、認可された学校であり、教材備品については、看護師等養成所の運営に関する指導要領に記載してある機械器具、標本、模型及び図書を適宜補充し、更新することが必要条件になっている。図書については、保健師助産師看護師法施行令第14条に基づき毎年蔵書数を厚生労働大臣へ報告することになっている。又、学校教育法第5条「学校の設置者は、その設置する学校を管理し、法令に特別の定めのある場合を除いては、その学校の経費を負担する。」により、設置者である蒲郡市長、蒲郡市が管理運営するべき事業である。
-------------	----	--

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
------	-------------------

改善点、問題点等

過去の改善点	<p>新刊図書や学術雑誌情報を電算化し、検索などにおける利便性の向上を図った。授業や自己学習の円滑化を図るため、平成16年度に情報科学室に設置のパソコンを20台から40台に増やした。その際に併せてリース料の見直しを行った。</p>
現在の課題、問題点	<p>利便性の向上のため図書情報の電算化を推進してきたが、データベースが肥大化してきている。管理ソフトの更新、災害時におけるデータの保護装置の導入などが今後の課題となっている。</p> <p>平成21年4月からカリキュラム改正が行われ、フィジカルアセスメント技能の向上のために様々な症状や徴候を再現するシミュレーター等や、各種看護技術を実際に近い状態で適用できるようにするために臨床場面を類似体験できるような用具等が、高価ではあるが整備が必要となっている。また、授業科目が増加することにより、その専門分野に関わる図書の整備も必要である。</p>
今後の改善計画	<p>平成21年度から実施している看護教育における新カリキュラム対応のため、指導要領に基づく新たな看護演習用備品の購入を計画的に実施している。</p>